

電波適正利用推進員が島根県浜田市で「電波教室」を開催！

～ 小学生を対象に電波の利用ルールについて周知・啓発～

電波の適正利用に関する周知・啓発活動の一環として、島根県電波適正利用推進員協議会（会長：藤井一泰）等が主催する「きらめき！子ども体験教室 でんぱってなあに？」（以下、「電波教室」）が、中国総合通信局（局長：齊藤一雅）の後援により、1月25日（土）に島根県浜田市の三保公民館において開催されました。

この電波教室は、中国総合通信局長が委嘱した電波適正利用推進員（電波の適正利用を推進する活動を行う民間のボランティア）が、適正な電波利用環境の維持・改善のための活動として、小学生を対象に電波（無線通信）の仕組みや役割に関心を持ってもらうとともに、電波の正しい利用ルールを学んでもらうことを目的として開催したものです。

今回の電波教室には、11名の小学生とその保護者の参加があり、身近な電波の利用例をビデオで学習した後、推進員が電波の伝わり方のモデル実験を実演し、さらに、参加者全員でFMラジオキットの組み立てを行いました。中国総合通信局では、今後もこのような機会を通じて、電波の適正な利用環境について周知・啓発を図っていくこととします。

【参考】電波適正利用推進員協議会

総務省は、平成9年度に電波適正利用推進員制度を導入し、中国管内では48名の推進員の方々に委嘱して、電波の適正利用に関する活動を行っていただいています。また、地域における推進員の活動を支えるため、各県に協議会が設置されています。

